

## 2024 年度 三井のリハウス東京都 U-12 16 ブロックリーグ要項

### <大会趣旨>

少年期におけるこどもたちの健全なる心身の発達を願い、技術、戦術、マナー、  
そしてサッカーのゲームを楽しみ、愛する心を育てる。  
8 人制の試合をすることにより、「判断」へのアプローチ場面を多くし、  
いろいろなポジションを経験しながら個々の「技術」の質を高める。  
育成 をめざし、多くの選手に試合経験を与えることとする。

①主催 公益財

団法人東京都サッカー協会

②主管 東京都少年サッカー連盟

③協賛 三井不動産リアルティ株式会社

④期間 前期：令和 6 年 4 月 6 日(土)～6 月 30 日(日)

後期：令和 6 年 9 月 1 日(日)～12 月 22 日(日)

⑤試合会場 リーグ参加チーム及び本部提供会場

⑥参加資格 a. (公財)日本サッカー協会第 4 種に団体登録したチームであり、  
第 16 ブロックで登録を行っているチーム。

第 16 ブロック登録チーム同士の合同チームの参加を認める。

ただし、強化のための合同は認めない。

また、第 1～第 15 ブロックのチームから JFA 登録している選手が

第 16 ブロック登録チームから本リーグへ参加することも認める。

ただし、JFA 登録したチームの U-12 リーグのメンバーに登録されていないことが  
必要な条件となる。

b. 単一団体チームから複数チームの参加は、6 年生が 30 人以上登録されており、  
2 チーム (A. B チーム) とともに 6 年生だけの登録とする。

参加選手は、上記登録チームに所属する選手であること。

c. グラウンド提供や会場運営など、リーグ戦運営に協力できるチームであること。

d. ベンチ入りのスタッフは 2 名以上 5 名以内とする。

ベンチ入りスタッフは必ず本協会公認資格 D 級以上であり、  
1 名以上が成人であること。

上記指導者に加え 1 名のメディカルスタッフをベンチに入れることができる。

メディカルスタッフについては、指導者資格の有無を問わない。

メディカルスタッフを入れる場合もベンチ入りの最大人数は 5 名とする。

上記の規定は試合を通して適用される。

※各試合のエントリー表提出の際、ベンチ入りする指導者全員の資格証も提出する事

e. 小学校 6 年生から 3 年生の少女で編成されたチームであること。

ただし、3 年生、4 年生の選手を含める場合は、相手チームに 6 年生がいることを考慮し、各チームの責任者において参加選手を選定すること。

- ⑦試合方法
- a. グループでリーグ戦を行う。
  - b. 前期（地域）／後期（前期順位）の二リーグ制で行う。
  - c. 試合時間 40 分 (20-5-20)
    - ・ 土、日曜日で最大 2 試合までとする。
    - ・ 土曜日 1 試合、日曜日 1 試合または土曜日か日曜日に 2 試合
    - ・ 3 連休の扱いは土曜日 2 試合、日曜日なし、月曜日 1 試合  
または土曜日 1 試合、日曜日なし、月曜日 2 試合で 3 試合となる。
    - ・ 試合時間を 30 分で行う場合は土曜、日曜日で 3 試合を認める。

⑧エントリーと選手登録

- a. U-12 ブロックリーグ参加選手は所定の登録用紙兼メンバー表を提出し、エントリーをすること。〈別紙 登録用紙兼メンバー表〉
- b. 提出して承認を受けた登録用紙兼メンバー表に記載なき選手は、試合に出場することが出来ない。
- c. 当該チームは第 1 試合開始 30 分前までに顔写真貼付の選手証、及びベンチ入りする指導者証と承認を受けた登録用紙兼メンバー表に必要事項を記載した上で会場本部に提出し、内容の確認を行う。  
第 2 試合前は承認を受けた登録用紙兼メンバー表のみを本部に提出する。
- d. 試合に出場する登録選手は試合開始 10 分前に本部前に集合して選手証を持参の上、用具とともに確認を受けることとする。  
※ 選手登録申請中の場合は、その旨を証明出来る資料を持参のこと（登録画面コピー等）。  
※ 必ず傷害保険（スポーツ安全傷害保険）に加入していること。

⑨選手の移籍

- a. 移籍は連盟大会要項『移籍規定』に則りリーグ戦開催中でも行える。  
不明な場合は事前に競技運営部長にご相談ください。  
ただし、選手や保護者の同意がなく、一方的に強引な引抜き行為の疑いがあると判断した場合、規律・フェアプレー委員会が事実確認を行ない、  
不当な行為であると認定した場合には移籍を認めない。  
このような行為を行なったチームには、懲罰規程に準じて懲罰を科す。
- b. 全日本 U-12 選手権大会に移籍して参加する場合は  
その年の前期リーグ終了日 (6 月 30 日) までに  
選手の移籍登録を完了することで全日本 U-12 選手権大会の東京都ブロック大会に  
そのチームで出場することができる。  
尚、後期リーグは移籍後のチームでの出場となり移籍前 (前期リーグ) のチームでの  
出場は出来ない。

⑩結果、表彰

- a. 表彰は行わない。

⑪参加費 1万円／1チーム

⑫リーグ戦形式

- a. 前期・後期共に各グループ  
1戦ずつの総当り方式のリーグ戦を行う。
- b. 前期リーグ組合せは地域を考慮し、競技運営部にて決定する。
- c. 後期リーグ組合せは前期リーグの成績により決定される。
- d. ブロックリーグ戦における順位の決定方法は、
- e. 勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。  
なお、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。
- i. 全試合の得失点差（総得点－総点）
- ii. 全試合の総得点
- iii. 当該チーム同士の対戦成績（勝敗）
- iv. i～iiiの全項目において同一の場合は、抽選により決定する。

⑬競技規則、規定、懲罰

競技規則、競技会規定、懲罰事項はU-12サッカーリーグ1部・2部要項

9、10、11、項に準じる。（参考資料下記）

A. 競技規則

本協会「8人制サッカーの競技規則」による

B. 競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

（1）競技のフィールド

- ① フィールドの表面は天然芝、人工芝が望ましいが、クレーでも可能とする  
（ライン表示についてはマーカーコーンの使用可）。
- ② フィールドの長さ（タッチライン）は68m、幅（ゴールライン）は50mを基本とし、照度が十分に確保されていること。  
交代ゾーンとして中央から両側に3mのマークを設ける。
- ③ペナルティエリア等  
ペナルティエリア12m、ペナルティーマーク8m、  
ペナルティアークの半径7m、  
ゴールエリア4m、センターサークルの半径7m
- ④ テクニカルエリアは設置しない。  
戦術指示はその都度ベンチのただ1名の指導者が伝えることが出来る。

⑤ 試合球

各チームから1個ずつ公認検定球を各会場で規定された試合開始時間の前までに会場本部に持ち寄る。

(2) 競技者の数

① 8人の競技者（うち1人はゴールキーパー）が試合に出場する。

\* 一方のチームが8人に満たない場合は試合を開始しない。

試合中の負傷者・退場者は即時補充する。

\* 試合開始時から試合終了時まで、2人以上（5人以内）のチーム役員（登録用紙に記載された役員）がベンチにいないといけない。  
（メディカルスタッフ1名を除きベンチに入る指導者は公認資格D級以上保持者である事）

② 試合に出場出来る競技者は試合当日のメンバー表登録者で、人数に制限は設けない。

③ フィールドプレーヤーは交代ゾーンからいつでも自由な交代が出来るが、ゴールキーパーの交代は主審に通知し、試合の停止中に行う。

④ 交代要員はユニフォームと異なる色（ビブス等）を着用する。

(3) 競技者の用具（ユニフォーム）

① リーグ戦実施年度の日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に則る。

② 選手番号は規定（背面：縦25cm-35cm、前面：縦10cm-15cm）サイズを適宜縮小することができる。

③ 番号表示はシャツの背面及び前面とする。ショーツには表示を推奨する。

④ 当日の対戦相手とユニフォームの色確認を用具チェック前に行っておくこと。

⑤ ゴールキーパーの予期せぬ事態でのフィールドプレーヤーとの交代の場合、試合で使用していない正副いずれかのシャツで本人の番号であれば着用可能。それが難しい場合はビブス以外の番号無しの安全なジャージ等の着用を認める。

⑥ ゴールキーパーのショーツ、ソックスは最初からフィールドプレーヤーと同じでも良い。

⑦ アンダーシャツ、アンダーショーツならびにタイツの色は問わないが、チーム内では同色のものを着用する。

なおゴールキーパーはフィールドプレーヤーと異色で良いが統一すること。

また、ビブスを着用しての出場は認められない。

(4) 審判

試合は1人の主審と2人の副審と第4審判で運営される。

参加チームは有資格審判員2名を帯同していること。

審判は審判報告書及び重要事項報告書を携帯し、

懲戒罰、報告事項のある場合は本部に報告する事。

(5) 試合時間 試合時間は40分（前後半各20分）とする。

ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）：基本5分間とする。

尚、WBGT 指数による対応において、クーリング・ブレイクを適用することがある。

## C. 懲罰事項

- (1) 本リーグ戦期間中に警告を3回受けた選手は、次の1試合は出場停止となる。  
本リーグ戦全日程終了時点で、累積警告は消滅するものとする。
- (2) 本リーグ戦において退場、退席を命じられた選手、役員は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については規律フェアプレー委員会において決定する。  
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充する。  
主審は競技者が補充されようとしている間は試合を停止する。
- (3) 試合が成立しなかった場合（選手証不携帯、試合開始時に選手8名揃わない、試合終了時に5名以下になった場合、チーム役員がいない等）は棄権試合とし、  
取り扱いは次の通りとする。
  - i 不戦勝チームには、勝ち点3、得点3を与える。
  - ii 不戦敗チームには、勝ち点マイナス1、得点0とする。
- (4) 試合会場本部で判断ができない事象が発生した場合は、  
速やかに16ブロック競技運営部に確認を取ること。  
万が一、16ブロック競技運営部に連絡が取れない場合は、予定通り試合を行うが16ブロック委員長預かりとするので、当該の判断が決定するまでは、試合後の結果報告書の指導者確認サインは受けないこと。  
(後日、16ブロック競技運営部が直接署名を受領する。)
- (5) 本協会諸規程および本記載事項にない事例に関しては、規律フェアプレー委員会にて決定する。

## ⑭ その他

- (1) 2024年度よりベンチ入り指導者はメディカルスタッフ1名を除き  
公認D級以上の資格保有必須となる。  
また選手証提出時併せて当日ベンチ入りする指導者資格証も必ず提出する事。
- (2) リーグ戦参加にあたり運営にあまりに協力的でない場合、  
来期の参加を認めない場合がある。  
例)
  - ・幹事からのスケジュール提出期日を守らない。
  - ・試合稼働日が一月に1日もない等極端に少ない。
  - ・会場注意事項を守らない 等
- (3) 他の公式戦との調整  
前期はハトマーク大会の試合を優先して調整を行なう。  
後期は全日本選手権大会→JA東京カップ→リハウスリーグ→ディノスカップ  
上記の優先順位にて調整を行なう。

以上

